



Digital Video Recorder

クイックガイド

TR-4308

TR-4316

TR-4308R

TR-4316R

安全上の注意事項

製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。

警告 指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある場合。

設置について

- 設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線はご遠慮願います。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。異常作動により火災や感電、けがの原因となります。
- 停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。火災、感電、けがの原因となります。
- カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。火災、感電、けがの原因となります。
- 本機の後面には接続のための端子が突出しているため壁に近づくところに設置すると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。火災、感電、けがの原因となります。
- 温度が高すぎる（40℃以上）や低いところ（5℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。火災の原因となります。
- 湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。火災、感電の原因となります。
- 直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発生する機器の近くには設置しないでください。火災が発生する恐れがあります。
- 設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について

- 本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具と一緒に使用しないでください。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。火災の原因となります。
- 電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS (Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置) の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店にお問い合わせください。
- アース(接地)は確実に行なう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因となります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。

使用について

- 製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。故障、火災の原因となります。
- 異常な音が生じたり臭いが生じたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。火災、感電の恐れがあります。
- 電池は製造者が指定した同一型番または同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。爆発の恐れがあります。
- 湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。火災、感電の恐れがあります。

注意 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について

- 強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。磁石類や電波、振動のないところに設置してください。
- 水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。
- 密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気が適切に循環させてください。周辺の環境要素による故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。
- ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。
- 強い衝撃や振動のない場所に設置してください。故障の原因となります。

使用について

- 製品の上に重い物を置かないでください。故障の原因となります。
- 通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。故障の原因となります。
- 製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。故障の原因となります。
- 製品前面の録画LEDが点滅し続けている場合、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。
- HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。
- データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。
- 製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

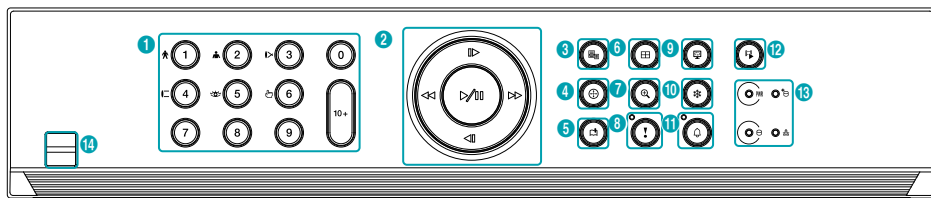
付属品の確認

製品の梱包を解体し、下記の部品がすべて含まれているか確認してください。

項目		
デジタルビデオレコーダー	電源ケーブル	クイックガイド
ラックマウント設置用のブラケット	IRリモコン (オプション)	SATA2ケーブル
ハードディスク固定用のネジ		

各部分の名称

前面パネル

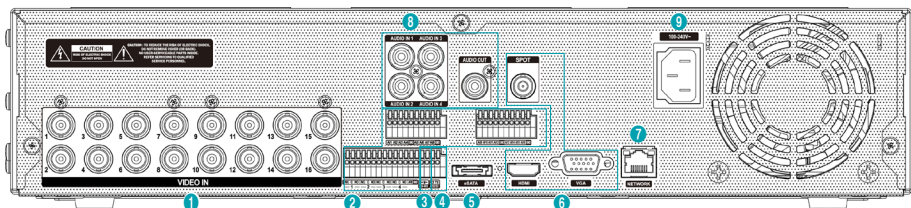


1	カメラボタン	2	方向および再生ボタン	3	メニューボタン	4	PTZボタン
5	ブックマークボタン	6	分割画面ボタン	7	拡大ボタン	8	緊急録画ボタン
9	モニターボタン	10	一時停止ボタン	11	アラームボタン	12	検索モードボタン
13	LED	14	USB端子				



- 前面パネルの各ボタンに関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。
- 本取扱説明書は8、16チャンネルのデジタルビデオレコーダーについて記載しています。各チャンネルのDVRは、接続可能なカメラの台数やアラームの数、ディスプレイ可能なカメラの台数を除いては同様です。お客様のご理解を助けるため、本取扱説明書の図や説明は16チャンネルモデルを基本として作成されています。

後面パネル

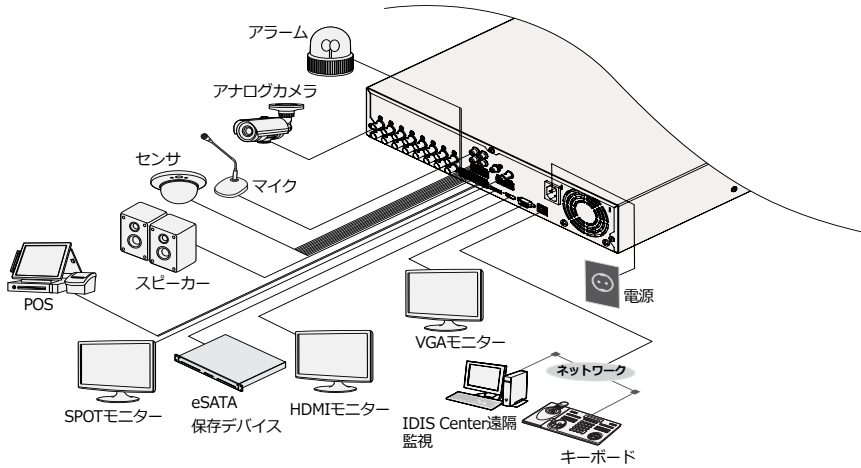


1	ビデオ入力ポート	2	アラーム接続端子	3	RS485端子	4	RS232端子
5	eSATA端子	6	SPOT/HDMI/VGA出力端子	7	ネットワーク端子	8	オーディオ接続ポート
9	電源入力端子						

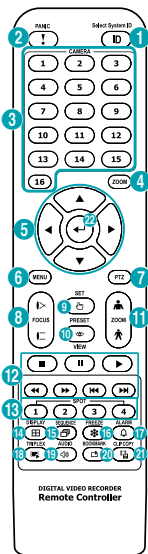


- 後面パネルの各端子の接続に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

後面パネルの接続図



リモコン(オプション)



1	IDボタン	2	PANICボタン (緊急録画ボタン)
3	カメラボタン	4	ZOOMボタン (拡大ボタン)
5	方向ボタン	6	MENUボタン (メニューボタン)
7	PTZボタン	8	近距離/遠距離フォーカスボタン
9	プリセット保存ボタン	10	プリセット読込ボタン
11	拡大/縮小ボタン	12	再生ボタン
13	SPOTボタン (外部モニターボタン)	14	DISPLAYボタン (画面分割ボタン)
15	SEQUENCEボタン (自動切替モードボタン)	16	FREEZEボタン (監視画面の一時停止ボタン)
17	ALARMボタン (アラームボタン)	18	TRIPLEXボタン
19	AUDIOボタン	20	BOOKMARKボタン (ブックマークボタン)
21	CLIP COPYボタン (バックアップボタン)	22	ENTERボタン (入力ボタン)



リモコンの各ボタンに関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。



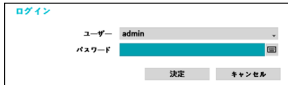
ソフト(IDIS Center)及びマニュアルは下記のウェブサイトダウンロードできます。
 - IDISホームページ(www.idisglobal.com)
 - IDIS Centerなど検索

設置

ログイン

環境設定や検索など、DVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- リアルタイム監視メニューでリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用して **ⓐ** (ログイン) を押してください。



- ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。



- adminアカウントには初期パスワードがないので、adminアカウントを選択し、パスワードを入力せずログインします。
- パスワードを設定せずシステムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。パスワードを指定せずに使用すると、警告メッセージが表示されます。
- マウスでパスワード入力項目の右側にあるボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。

- リアルタイム監視メニューにおいてマウスで **ⓑ** (ログアウト) を押すと、ログアウトすることができます。

ウィザード実行

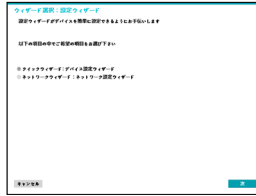


- 設定ウィザードは初めて起動させるときに現れ、その後はリアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行することができます。
- ウィザード実行段階に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

- システムで使用する言語を選択してください。



- 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次へ**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。(最初起動時は、下の画面は表示されません。)



クイックウィザード

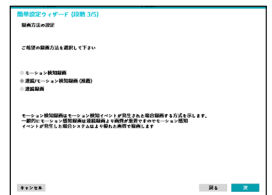
- クイック設定ウィザード開始

- 日時/時間設定

変更された日時/時間の設定値は、**次へ**をクリックすると適用されます。

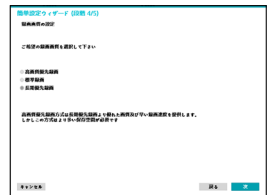


- 録画方式設定



- 録画画質設定

高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。



- クイック設定ウィザード完了

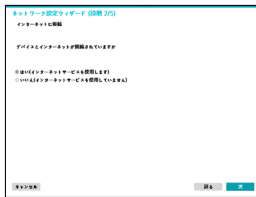
ネットワークウィザード



クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定**をクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

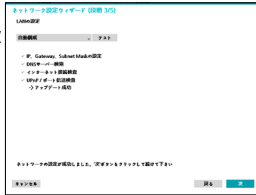
- ネットワークウィザード開始

インターネット接続確認



LAN設定

テストを完了しないと、次の段階には進めません。



FEN設定

FENサーバーに登録されるDVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



ネットワークウィザード完了

基本機能

リアルタイム監視

カメラの登録が完了すると、リアルタイム監視モードに入ります。リアルタイム監視モードで**設定**ボタンを押すと、画面上段にリアルタイム監視メニューが表示されます。**設定**ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。前面パネルやリモコンの方向ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。

映像出力エリア

映像出力エリアにマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示に切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして位置を調整することができます。





ビデオ録画

監視映像を録画します。

録に関する詳しい内容は取扱説明書をお読みください。

緊急録画機能

リアルタイム監視メニュー、または**検索**メニューで緊急録画  アイコンを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**緊急録画**ボタンを押すと、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択するか、**緊急録画**ボタンを押してください。**録画設定**>**一般**で**緊急録画時間**が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。



- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定**—**一般**で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。



- 録画モードが**上書**状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録音

録画設定> 一般でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されると音声も録音されます。



設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。

保存された映像の再生

マウスやリモコンなどを使用して、映像を再生することができます。

全チャンネル再生

- リアルタイム監視モードでメニューボタンを押してください。
- 検索モード ▶ アイコンを選択し、録画テーブル検索またはイベントログ検索を選択してください。
- 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

IDIS Web

IDIS Webはインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。

通常のウェブブラウザ(エクスペローラ)でいつでもどこでも接続することができます。

IDIS Webプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

	推奨仕様
OS	Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、Professional、Ultimate)、Microsoft® Windows® 8 (Pro、Enterprise)、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)
CPU	Intel Pentium IV 2.4GHz以上 (Core 2 Duo E4600推奨)
RAM	1GB以上
VGA	128MB以上(1280x1024、24bpp以上)
Internet Explorer	Ver.7.0以上(32-Bit)



- IDIS Webはマイクロソフトのインターネットエクスペローラ(Microsoft Internet Explorer)だけに対応し、その他のウェブブラウザには対応しません。
- IDIS WebはMicrosoft® Windows® 8のメトロ(Metro) UIでは作動しません。

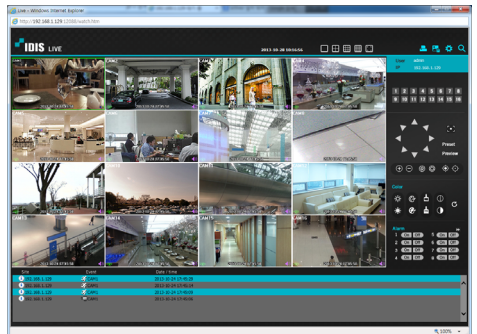
IDIS Web実行

- IE(インターネットエクスペローラ)を起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。
 - http://IPアドレス:ポート番号(DVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号(初期値:12088)入力)
 - または、http://fen.idisglobal.com/FENの名前(FENの名前:FENサーバーに設定したDVRのデバイス名)
 - または、http://web.idisglobal.com(ログイン時のDVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)



接続したいDVRのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

- IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、**LIVE-PORT**または**PLAY-PORT**を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。http://web.idisglobal.comを入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にDVRのIPアドレスを入力します。
ログインウィンドウでUse FENサービスオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているDVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。



IDIS Center Program

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows® 7 x86 (64bit) (Home Premium, Professional, Ultimate)、Microsoft® Windows® 8 (Pro、Enterprise)、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)	Microsoft® Windows® XP Home SP3
CPU	Intel Core™ i5-2550 3.30GHz以上	Intel Core™ i5-2550 3.30GHz以上
RAM	2GB以上	1.5GB以上
VGA	ATI Radeon™ HD 3650またはNVIDIA GeForce 8400GS以上 (1280x1024、32bpp以上)、マルチモニター	ATI Radeon™ HD 2400またはNVIDIA GeForce FX5500以上 (1024x768、24bpp以上)
HDD	6GB以上の空き容量	1GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	10/100 Mbps Ethernet以上



- IDIS centerプログラムは32-bit OSで動作します。
- Microsoft® Windows® Vistaまたはその以降のOSの場合、64-bit OSでは32-bit互換モードでインストール及び動作します。

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、**Windows** スタートメニューのコントロールパネルに移動し、**電源オプション**で**モニター節電機能**と**ハードディスク節電機能**を使用しないに設定してください。

- 1 IDIS CenterソフトウェアをIDISホームページ (www.idisglobal.com)でダウンロードします。
- 2 **Setup**のフォルダーの下にある**setup.exe**ファイルを実行します。



Microsoft® Windows® Vistaまたはその上のOSで**ユーザーアカウント制御**画面が表示されることがあります。この場合、**許可**ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。

- 3 インストール画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。
- 4 プログラムがインストールされる経路を指定した後、**次**ボタンをクリックします。
- 5 設置承認画面が表示されたら、**次**ボタンをクリックします。



NET FrameworkとVisual C++ Runtime Librariesが自動的にインストールされる場合、時間が少々掛かることがあります。ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++ Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。

- 6 設置完了画面が表示されたら、**閉じる**ボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

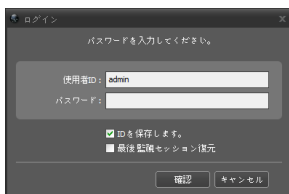
IDIS centerソフトウェアをインストールするとデスクトップに**IDIS center**及び**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のジャンプアイコンが生成されます。**IDIS center**又は**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のジャンプアイコンをダブルクリックしてIDIS centerプログラムを実行します。IDIS centerプログラムが実行中のPCに管理者IDではなく標準ユーザーIDでログインした場合、**IDIS center Run as administrator**(管理者IDでの実行)のジャンプアイコンをダブルクリックしてください。

ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべく**パスワード**を指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



- **IDを保存します**: この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元**: 現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。



- 使用者IDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。
- ユーザーメニューで使用者のIDやパスワードを変更することができます。

デバイスの登録

IDIS centerプログラムで提供する機能を使用するためには、まずIDIS centerプログラムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

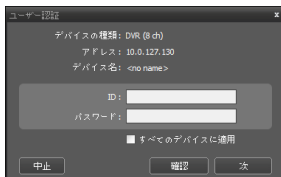
- 1 システムメニュー > IDIS center設定 > デバイスを選択します。



- 2 サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 検索モードを選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、検索結果をリストで表示します。
- 4 デバイス検索画面の下段の**デバイス登録**ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、遠隔接続のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、**確認**ボタンを押してください。



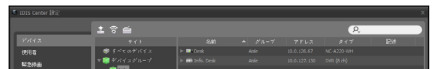
- 6 サイトパネルで**デバイスグループ**をクリックした後、サイトパネルの下段にある **+** ボタンをクリックします。**デバイスグループの追加画面**が表示されます。



- **名前**: デバイスグループの名前を入力します。
- **場所**: 該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。

左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある**選択されたデバイスリスト**欄に追加されます。**確認**ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

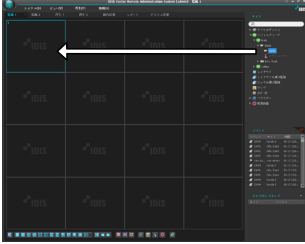
- 7 デバイスがデバイスグループに正しく追加されているか確認します。**サイトパネルでデバイスグループ**をクリックした後**デバイスグループ**の左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、**サイトパネル**の下段にある ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正**画面が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。**サイト**リストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN (WiFi) を使用することをお勧めします。携帯電話の無線インターネット (3G、LTE) で接続する場合、課金されることがあります

アンドロイド基盤のモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAndroid **Playストア** (Google Play) アプリケーションを実行して下さい。
- 2 **Playストア** (Google Play) アプリケーションの検索欄に**IDIS Mobile**と入力して下さい。
- 3 **IDIS Mobile**をインストールしてプログラムを実行して下さい。
- 4 (新規登録) ボタンを押します。デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。



- **名前:** IDISモバイルプログラムで使用するデバイス名を入力します。
- **接続情報:** FENの使用有無、遠隔地点のアドレスおよびポート情報を設定します。
参考: デバイスがFEN(For Easy Networkサービス)機能を使用しない場合は、選択を解除します。別途のFENサーバーを運営する場合、初期画面の上部タイトルバーから設定ボタンを押して、FENサーバーの情報を設定します (接続アドレスの初期値: dvrnames.net、ポート番号の初期値: 10088)。詳しい内容は、FENサーバー管理者にお問い合わせください。
- **参考:** デバイスがFEN機能を使用しない場合は、**FEN使用**項目の選択を解除した後、**IPアドレス**項目にデバイスのIPアドレスを入力します。**監視ポート**番号の場合、初期値を使用することを推奨します。
- **ユーザーID:** デバイスにログインする時に使用するユーザーIDおよびパスワードを入力します。
- **QRコード:** QRコードをスキャンして、デバイス情報を自動的に入力することができます。



本機能は、QRコードがサポートされるデバイスにのみサポートされます。

iOS基盤のモバイルデバイス

- 1 モバイル機器より**Appストア** アプリケーションを実行して下さい。
- 2 **Appストア**アプリケーションの検索欄に**IDIS Mobile**と入力して下さい。
- 3 **IDIS Mobile**をインストールしてプログラムを実行して下さい。
- 4 (新規登録) ボタンを押します。デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。



- **名前:** IDISモバイルプログラムで使用するデバイス名を入力します。
- **接続情報:** FENの使用有無、遠隔地点のアドレスおよびポート情報を設定します。
参考: デバイスがFEN(For Easy Networkサービス)機能を使用しない場合は、選択を解除します。別途のFENサーバーを運営する場合、初期画面の上部タイトルバーから設定ボタンを押して、FENサーバーの情報を設定します (接続アドレスの初期値: dvrnames.net、ポート番号の初期値: 10088)。詳しい内容は、FENサーバー管理者にお問い合わせください。
- **参考:** デバイスがFEN機能を使用しない場合は、**FEN使用**項目の選択を解除した後、**IPアドレス**項目にデバイスのIPアドレスを入力します。**監視ポート**番号の場合、初期値を使用することを推奨します。
- **ユーザーID:** デバイスにログインする時に使用するユーザーIDおよびパスワードを入力します。
- **QRコード:** QRコードをスキャンして、デバイス情報を自動的に入力することができます。



本機能は、QRコードがサポートされるデバイスにのみサポートされます。

製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

一般	
サイズ(W x H x D)	430mm x 88mm x 415mm
本体の重量	5.9kg(with 2HDDs)
動作温度 / 動作湿度	0°C - 40°C / 0% - 90%
入力電源	100-240V~, 50/60Hz, ≤ 2.0A
消費電力*	100-240V~, 50/60Hz, 1.2-0.6A, 76W
認証	FCC, CE, CB

ビデオ	
ビデオ入力	Composite 8 または 16 入力: BNC、1 Vp-p, auto-terminating, 75 Ohms
モニター出力	HDMI : 1 VGA : 1 SPOT : 1 BNC, 1 Vp-p, 75 Ohms
ビデオ解像度	HDMI: 3840x2160、1920x1080、1440x900、1280x1024 VGA: 1920x1080、1440x900、1280x1024 Composite (SPOT): 704x480 (NTSC)、704x576 (PAL)
録画速度 (1秒当たりのイメージ)	480ips @ Full HD (Real-time)
再生速度 (1秒当たりのイメージ)	120ips @ Full HD (Full Duplex)

入力/出力	
アラーム入力	8 または 16 TTL, NC/NO programmable, 2.4V (NC) または 0.3V (NO) threshold, 5VDC
アラーム出力	4 relay output, NC/NO programmable, 2A@125VAC, 1A@30VDC
	1 TTL, terminal block
内蔵ブザー	78dB at 10cm
ネットワーク接続	10Mbps/100Mbps/1Gbps Ethernet
オーディオ入力*/出力	4 line, RCA / 1 line, RCA
テキスト入力	POS Interface, ATM Interface

* 3TB HDD 4 個装備時の仕様です。

コネクタ	
ビデオ入力	Composite 8 または 16 入力: BNC、1 Vp-p, auto-terminating, 75 Ohms
モニター出力	HDMI : 1 VGA : 1 SPOT : 1 BNC, 1 Vp-p, 75 Ohms
オーディオ入力/出力	4 RCA connector / 1 RCA connector
アラーム	Terminal block
イーサネット端子	1 RJ-45
eSATA端子	eSATA
RS232シリアル端子	Terminal block
RS485シリアル端子ト	Terminal block
IR通隔制御端子	リモコン
USB端子	1 x USB 3.0, 1 x USB 2.0
保存	
内蔵HDD	SATA hard disk drive
外付けHDD	USB hard disk drive または flash drive

本書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

製品保証書

発行日 年 月 日

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。

お客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。

製品名			
シリアル番号		保証期間	発行日より5年間

◆販売会社

会社名	
住所	
電話番号	

◆お客様

会社名	
住所	
電話番号	

*本保証書は再発行はいたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条件に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店又は弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条 (定義)

- この約款において、「保証書」とは、製品名および保証期間を予め記入したうえで弊社が修理を保証する旨を約して発行された証明書をいいます。
- この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を起動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
- この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障箇所の修理をいいます。
- この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
- この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障箇所の修理をいいます。
- この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分を含み、付属品および添付品などは含まれません。

第2条 (無償保証)

製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。

- 修理をご依頼される際に、保証書を提示頂けない場合。
- ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入又は修正されていること等により、偽造された疑いのある場合。
- お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送又は移動に際し、落下又は衝撃等に起因して故障又は破損した場合。
- お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、又は、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障又は破損した場合。
- 火災、地震、落雷、風水害、その他天災地災、又は、異常電圧などの外部的要因により、故障又は破損した場合。
- 消耗部品が自然消耗又は自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
- 前各号に掲げる場合の他、故障原因が、お客様使用方法であると認められる場合。

消耗部品	推奨交換期間
HDD	3年
冷却ファン	2年

第3条 (修理)

- この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
 - 修理のご依頼時には保守契約窓口までご連絡下さい。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが確る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
 - 修理は、製品の分解又は部品の交換若しくは修理により行います。但し、万一、修理が困難な場合又は修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等又はそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。
 - ハードディスクの修理に際しましては、修理の内部により、ディスク若しくは製品を交換する場合はディスクをフォーマットする場合がございますが修理の弊社では記憶されたデータについてバックアップを作成致しません。
 - 無償修理により、交換された旧部品又は旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させていただきますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。
 - 性能維持に必要な消耗パーツ等の供給期間は、生産完了後7年までとなります。
 - 無償修理はセンドバックのみの対応とさせていただきます。お客様先での交換作業費、出張費用などは無償修理に含まれません。

第4条 (免責事項)

- お客様ご購入された製品について、弊社に故意又は重大な過失があった場合を除き、債務不履行又は不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
- お客様ご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補し又は瑕疵のない製品又は同等品と交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
- 弊社における保証は、お客様ご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスクなどのデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条 (有効範囲)

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

